

□うわさのこわさ

今日は「噂の怖さ」について考えてみましょう。

噂は、①ある人の身の上や物事についてかげで話すこと。また、その話。②世間で根拠もなく言いふらす話。風説。世評。(広辞苑)と定義されています。噂は、残念ながら私たちの日常生活にありふれており、社会的なつながりを築く短絡的な手段として機能することがありますし、他の人々と共通の関心事を共有することで、奇妙な一体感を感じる場合もあります。しかし、噂が広がることで生じる問題が多数存在します。

証拠や根拠を持たない話が広がることで、他の人は誤解や偽りを判断することができず、誤ったイメージを抱いてしまうことがあります。やがて事実が明らかとなった瞬間、噂に関わった人たちの信頼関係は崩れ、将来の進路にまで影響を与えるなど、その被害は深刻です。そもそも、その人の目の前で言えない話は、いつでもどこでもするべきではありません。思ったことを全て口にすることが必ずしも正直という訳ではないのです。以前に話した「何を言うべきか、何を言わないべきか、どのように伝えるべきか」を改めて考えてみましょう。

みなさん、噂の怖さを軽視してはいけません。噂を広める代わりに、ポジティブな情報やサポートを提供しましょう。もし、不確かな話をしている場面に遭遇したら、冷静に「他の話をしない?」と伝えたり、その場を立ち去りましょう。その小さなアクションが話の対象となった人の感情やプライバシーを尊重し、自分を守ることにもつながります。そして、噂をされた人も噂を耳にして心配になった人も、先生に相談してください。一人一人が過ごしやすい学校は、わたしたちで作ることができるのですから。



□□探究活動はまだまだ続く

先週の総合的な探究の時間で課題設定が終了しました。課題を制するものは探究を制すると言われる程大事な一歩です。来年の夏までこの課題で探究活動を行いますし、志望理由書の書き方についての学習も始まっています。設定した課題は進路先とマッチしていますか?自分を存分にアピールできる内容ですか?また、自分の手元から離れた抽象的で壮大すぎるテーマになっていませんか?課題についてまだ悩んでいる場合は、担当の先生に助言を求めましょう。私からは、「秋から来年の春にかけても体験活動を継続しよう」をアドバイスします。講義の聴講体験だけではなく、みなさん自身が身体を動かしたり調査するような活動をぜひ取り入れてください。それらの体験が課題をより明確にし、分析に深みを与え、具体的で独自性のある成果をもたらしてくれます。

□□□All's well that ends well.

11月20日から期末考査が始まります。今年のもためにふさわしい準備をしてください。

11月20日(月)		11月21日(火)		11月22日(水)		11月24日(金)	
文	理	文	理	文	理	文	理
CmⅡ(リスニング)		古典研究		論理・表現Ⅱ		数学	
論理国語		世・日・地	化学	保健		公共	
地学基礎	物・生			家庭基礎			